

矢巾町体育協会創立 70 周年記念式典・祝賀会開催結果

去る令和 7 年 12 月 6 日（土）15 時 30 分～矢巾町公民館 3 階大研修室にて、矢巾町体育協会創立 70 周年記念式典・記念祝賀会を開催しました。記念式典には高橋昌造矢巾町長・白澤勉岩手県議会議員・廣田清実矢巾町議会議長を始め、御来賓及び体育・スポーツ関係者等 104 名が参加しました。



式辞（川村 勝弘 矢巾町体育協会長）



優秀指導者（酒井 めぐみ様）



祝辞（臼澤 勉 岩手県議会議員）



新名称発表・ロゴ＆シンボルマーク披露（産業技術短大産業デザイン科 畑山萌南さん）



記念表彰受賞者

特別体育功労者

敬称略・順不同

村松 正夫

昭和39年より理事として38年間、平成14年からは会長として18年間にわたり協会を牽引され、本町の体育・スポーツの振興に大きく貢献されました。

体育功労者

阿部 栄子

理事として21年間、副会長として13年間にわたり協会の運営と発展に尽力されました。

廣田 徹夫

理事として19年間、理事長として9年間、副会長として3年間活動し、協会運営に大きく貢献されました。

村松 輝夫

理事として通算22年間、副会長として11年間、事務局長として5年間にわたり幅広く協会運営を支えられました。

昆 茂

理事として18年間、副会長として7年間にわたり協会の運営と発展に尽力されました。

廣田 政夫

理事として20年間、理事長として2年間、事務局長として2年間活動し、協会発展に寄与されました。

村松 勉

矢巾町バスケットボール協会長として10年間にわたり競技の普及と育成に尽力されました。

稻垣 譲治

矢巾町ボウリング協会長として13年間にわたり競技の普及と育成に尽力されました。

北 邦男

矢巾町スポーツ少年団本部長として10年間にわたり青少年の健全育成とスポーツ振興に尽力されました。

優秀選手

水本 圭治

東京2020オリンピックカヌー男子カヤックフォア500m 出場

高橋 幸平

平昌2018冬季パラリンピック競技大会アルペンスキー競技男子回転・大回転(立位)出場
北京2022冬季パラリンピック競技大会アルペンスキー競技男子回転(立位)出場

菊地 裕太

ITFワールドテニスツアーM15男子シングルス優勝

菊池 夏生

2017カヌースプリントアジア選手権大会出場(ジュニア女子カヤックペア500m第3位)

旭田 好里

高円宮妃杯JFA第27回全日本U-15女子サッカー選手権大会 優勝

安ヶ平 優衣

第18回女子ジュニアハンドボールアジア選手権 優勝

優秀選手

敬称略・順不同

村松 未来

第18回女子ジュニアハンドボールアジア選手権 優勝

及川 耕平

第25回全国社会人クラブ対抗バドミントン選手権大会 成年男子団体(team1977) 優勝

藤原 徳貴

第25回全国社会人クラブ対抗バドミントン選手権大会 成年男子団体(team1977) 優勝

優秀指導者

酒井 めぐみ

令和4年度第18回春の全国中学生ハンドボール選手権大会 準優勝 矢巾中学校男子ハンドボール部顧問



(左から高橋昌造矢巾町長・畠山萌南さん（作品作者）・川村勝弘矢巾町体育協会長）



記念祝賀会

矢巾町体育協会は矢巾町スポーツ協会へ生まれ変わります

本協会は、これまで「体育」の持つ意義や教育的価値の重要性を尊重しつつ、「スポーツ」を振興し、その価値を高める役割を担ってきました。昨今の社会的・時代的流れの中で健康や体力の増進、競い合うことなどが主であった「体育」・「スポーツ」から、スポーツを文化として楽しむことや、スポーツを通じて社会が抱えている問題の解決に貢献していくこと、多様化するスポーツへの対応などが求められており、本協会が本町のスポーツを統括する組織として、多くの町民にスポーツ参画を促し、スポーツ文化を後世に継承していくためには、本会の名称を「矢巾町スポーツ協会」に変更することがふさわしいと考えました。

新名称



オリジナルロゴマーク制作意図

矢巾の「Y」とスポーツの「S」を手足にたとえ人が走りだしているような形にしました。また、走り出しているロゴマークを見た人が「自分も走りたい、久々に運動しようかな」と思って貰えるように疾走感を感じられるようにしました。配色では矢巾町は自然が豊かなので、青空の青、植物の緑、太陽の赤を使用しました。

制作者：岩手県立産業技術短期大学校

産業デザイン科 2年 畑山 萌南さん